

議会報告会開催のお知らせ

より多くの市民の皆様の参加を待ちしております。
皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。

■日時・会場・地区名

日時・会場	地区名	会場名	担当班
5月7日(木) 19時より	田沢地区	田沢交流センター	1班
	生保内地区	田沢湖開発センター	2班
	神代地区	神代就業改善センター	3班
5月8日(金) 19時より	白岩地区	白岩集落センター	1班
	角館地区	角館交流センター	2班
	中川地区	中川集落センター	3班
5月9日(土) 19時より	雲沢地区	雲沢集落センター	1班
	桧木内地区	紙風船館	2班
	西明寺地区	西木公民館	3班

■班編成

1班	2班	3班
八柳良太郎	阿部則比古	稲田修
伊藤邦彦	小林幸悦	高久昭二
安藤武	荒木田俊一	真崎寿浩
黒沢龍己	田口寿宜	小田嶋忠
熊谷一夫	高橋豪	大石温基
佐藤大成	平岡裕子	門脇民夫

人事案件

仙北市人権擁護委員

橋本 勲氏 (仙北市西木町上桧木内字福田89番地)

竹田 幸博氏 (仙北市田沢湖生保内字上滝沢144番地)

編集後記

3月18日、市の温泉事業である2号源泉の近くで、硫化水素ガスによる誠に痛ましい3名の死亡事故が発生しました。

市企業局が長年に渡って管理業務を委託していた業者の方2名が、市企業局職員2名と現場で分かれ引湯管の空気溜まりを抜こうと、バルブを操作するため積雪を1m程掘削したところ、温泉の熱で溶けていた洞穴に落下。後刻、この2名に合流しようと現場に引き返した職員が異常を察知、1名が救助に1名が緊急連絡に分かれたが、その後救助しようとした職員も洞穴の中で倒れていたようです。

11日の季節はずれの大量の降雪によって、残雪が2mと、この季節としては想定を超える深さになっており、おそらく落下後、すぐに異常なガス濃度に気づき脱出を試みたものの、掘削した穴よりも溶けていた洞穴のほうが一回り大きく、足掛かりを確保できないまま意識が薄れていったものと思われます。

このケースは硫化水素ガスの危険認識不足に直接起因するものではなく、たとえガス検知器を携帯し、簡易的なガスマスクを装着していたとしても事故が避けられなかったとも考えられます。

事故後、安全作業マニュアル(案)が作成されましたが、今回は僅かなガスが長期間にわたって雪中と洞穴に貯留されたもので、換気すれば済む話であり、無臭の一酸化炭素や酸欠と違い、臭いがしたら警戒や対策をとればよく、硫化水素の危険対策に重きが置かれすぎて現実的な作業性があまり考慮されていないように感じます。

「現場では絶対に3名以下では作業をしない、1人は職長として現場の見張りや安全管理に徹する。緊急時の救命具を近くに常備して置く」等の対応が現実的ではないでしょうか。

取り返しのつかない事であり悔やまれてなりません。再発防止策を徹底することこそが、亡くなった方々に対する責務であり、最善の供養となるでしょう。

職務上犠牲になられた3名の方々と遺族の皆様には衷心から「冥福とお悔やみを申し上げます。」

(阿部則比古記)